

美しい多摩川フォーラム・第1回運営委員会議事録

日 時 : 平成28年11月2日(水)15:00~16:30

会 場 : 立川グランドホテル(JR立川駅北口)3階サンマルコ

出席者 : 会 長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
副会長 平野 啓子 語り部、大阪芸術大学教授
委 員 蛭間 浩之 東京都西多摩建設事務所 管理課長
岸田 学 日の出町 産業観光課 係長
橋本 昌 羽村市 産業環境部 部長
高野 修平 小金井市 企画財政部 企画政策課 主任
田部井 則人 狛江市 企画財政部 政策室長
太田 武彦 大田区都市基盤整備部都市基盤管理課 計画調整担当係長
廣瀬 一利 京王電鉄(株) 広報部 主任事務員
大東 一裕 東京急行電鉄(株) CSR推進室CSR推進部環境課長
木村 康雄 東京都森林組合代表理事組合長
小野木 喜博 (公財)とうきゅう環境財団 常務理事事務局長
渡邊 勇 おうめ水辺の楽校運営協議会会長
山崎 充哲 ガサガサ水辺の移動水族館館長
堤 香苗 (株)キャリア・مام 代表取締役
野崎 隆晴 (一社)大多摩観光連盟専務理事
加藤 太 (株)JTBコーポレートセールス法人営業西東京支店 営業第二課長
前田 裕彰 近畿日本ツーリスト(株)首都圏西団体旅行支店支店長
浅見 芳雄 (特非)緑の大地会 理事長
梶田 隆弘 クラブツーリズム(株) 取締役地域交流部長
江澤 伸一 (株)はとバス観光バス事業本部企画旅行部長
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー
アドバイザー 澤田 實 東京シティガイド
オブザーバー 西村 亜輝彦 狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事

(敬称略、以下同様)

配布資料 : (第1号議案)平成29年度美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業について(案)

(資料 1)多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

(資料 2)東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)

(資料 3)多摩川“水”大学講座(5/27、6/17、7/15、9/16、10/21)

(資料 4)東急百貨店「ココエコチャリティー」実施(5/26～)

(資料 5)多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力(5/28～11/13)

(資料 6)調布市環境フェア出展(6/4)

(資料 7)第9回・多摩川一斉水質調査実施(6/5)

(資料 8)多摩川っ子(第9号)発行(7/7)

(資料 9)「狛江古代カップ第26回多摩川いかだレース」参加(7/17)

- (資料 10) 第4回・多摩川親子カヤック体験教室開催(7/23)
- (資料 11) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成28年度総会開催(7/27 岩手県)
- (資料 12) 第8回・炭焼き体験と水辺の交流会(8/23)
- (資料 13) 第3回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて(9/1～)
- (資料 14) 東急百貨店より第7回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(9/23)
- (資料 15) 第9回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/8)
- (資料 16) 第8回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/12、11/19、11/26)
- (資料 17) 第3回・美しい多摩川フォト教室開催(11/25)
- (資料 18) 第9回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/10)

1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成28年度第1回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて55名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

始めに「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただきたいということで、本日は「混声四部合唱バージョン」でお聞き下さい……。

次に、本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

(羽村市 産業環境部 部長 橋本 昌 様)

4月から着任いたしました、橋本でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(狛江市 企画財政部 政策室長 田部井 則人 様)

田部井と申します。はじめて参加させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当係長 太田 武彦 様)

太田と申します。いつも及川事務局長にはお世話になっております。よろしくお願いいたします。

(小金井市 企画財政部 企画政策課 主任 高野 修平 様)

高野と申します。平成25年度に当フォーラムの行政会員として入会しましたが、なかなか運営委員会に出席できずにいました。本日はよろしくお願いいたします。

(京王電鉄(株) 広報部 企画環境担当 廣瀬 一利 様)

廣瀬と申します。本日は古屋に代わりまして出席させていただきます。よろしくお願いいたします。

たします。

((一社)大多摩観光連盟 専務理事 野崎 隆晴 様)

野崎と申します。昨日、11月1日付で現職に着任いたしました。何も分からないことだらけですので、今後、運営委員会に参加させていただき、皆様方のご指導をよろしくお願いいたします。

(事務局)

前任の栗原専務理事には大変お世話になりました。引き続きよろしくお願いいたします。続いて、オブザーバーの方をご紹介します。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事 西村 亜輝彦 様)

西村と申します。運営委員会については初めて参加いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 細野会長挨拶

(細野会長)

皆さんこんにちは。平成28年度第1回目の運営委員会です。11月の初めですが、寒いですね。天候も不順です。事務局の宮坂常務理事は風邪だそうです。私も10月は1ヵ月ずっと風邪をひいておりました。皆さまも健康にはお気をつけください。今日は、嬉しい報告があります。また、来年10周年記念事業の話もありますので、大いに語っていただき、有意義な会にしたいと思います。それでは、事務局から経過報告をお願いいたします。

3. 経過報告

(事務局)

経過報告に入ります。平成28年度上期の活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。8月23日に予定していた「第8回・炭焼き体験と水辺の交流会」が台風の影響で中止になった以外は、ほぼ計画どおり順調に終了することができました。それでは、その中から特に(1)番、(9)番、(11)番の3つの活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

—ビデオ放映—

経過報告を続けます。本件に入る前に、皆様にご報告があります。このたび、小倉副会長が平成28年度「とうきゅう環境財団社会貢献学術賞」を受賞されました。この賞は、日本の環境分野において、学術的、社会的に特に顕著な業績を挙げた研究者を顕彰し贈呈す

るもので、東京農工大学名誉教授の小倉紀雄様の研究が高く評価されたことによります。
本件につきまして、とうきゅう環境財団小野木常務理事に一言お願いします。

((公財)とうきゅう環境財団 常務理事事務局長 小野木 喜博 様)

ただいまお話がありましたように、小倉先生が、「第8回とうきゅう環境財団社会貢献学術賞」を受賞されました。9日に贈呈式があります。この賞は、社会貢献と学術と、2つの意味があり、どちらもすぐれている方に贈られます。選考委員の先生方が10名いらっしゃいますが、今回は全会一致でスムーズに決まりました。今回の受賞は、日本陸水学会様からのご推薦で小倉先生がノミネートされ、その後選考委員会で受賞が決まりました。おめでとうございます。

(事務局)

有り難うございました。それでは、受賞された小倉副会長から一言お願いいたします。

(小倉副会長)

このたび「とうきゅう環境財団社会貢献学術賞」という、大変栄誉ある賞をいただくこととなりました。テーマは、「水界環境科学の進展と市民環境科学への貢献」ということで、前半は今まで進めてきた水域での水や物質循環に関する研究で、後半は市民と共に分かりやすい環境科学を進めるという2つの面において評価していただきました。大変嬉しく思います。有り難うございました。

(事務局)

小倉副会長、おめでとうございます。

(3)多摩川“水”大学講座(5/27、6/17、7/15、9/16、10/21)【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。5年目となる今年度は、府中市様との共催のもと、5月27日に開講しました。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指します。本件につきまして、小倉副会長より一言お願いします。

(小倉副会長)

今回は、府中市中河原の女性センターで開講しており、5月～10月までの分は終了しました。11月17日で今期は終了となります。初回の出席者は16人でしたが、だんだん少なくなり、前回は10人でした。内容が少し難しいのかなという気もしますが、毎回気軽に参加している方もいらっしゃり、全回出席されている方もいらっしゃいます。地域の水環境のリーダーになることを期待して、今後もできればやりたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

(6) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力(5/28～11/13)【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。およそ半年に及ぶ多摩川11自治体交流イベントラリーですが、まもなく終了します。本件につきまして、狛江市企画財政部政策室企画調整担当主事の西村様に一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当主事 西村 様)

ただいまお話がありました通り、現在11の自治体が協力してイベントを実施しています。この事業は、各自治体の既存のイベントを、スタンプラリー形式でまわっていただき、多摩川流域の活性化を狙っています。3年前は4自治体、2年前は7自治体、そして今年は11自治体と、年々ご協力いただく自治体が増えていますし、併せてスタンプラリー参加者数も増えております。参加者には当日参加賞を配布したり、抽選で豪華賞品が当たる場合もあり、ファンも多いことから、多摩川流域の活性化に多少なりとも寄与しているのではないかと考えております。また、11自治体のほかに、多摩川を管轄している国土交通省の多摩川河川事務所の関係団体である多摩川流域懇談会様にも参加していただいております。今後も、参加自治体やスタンプラリー参加者を増やすことで、多摩川流域の活性化に貢献していきたいと思っております。

(7) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈(6/1)

- ・ 青梅信用金庫では、「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴い、10万円が当フォーラムに寄付金として贈呈されました。

(9) 第9回・多摩川一斉水質調査実施(6/5)【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。6月5日に実施された多摩川一斉水質調査の最終結果報告書が纏まりました。本件につきまして、小倉副会長にご説明をお願いします。

(小倉副会長)

今年で13回目になります。多摩川流域全体では387地点で調査が行われました。このマップをご覧ください。少し赤い色(値が高い地点)が目立ちますが、原因は、恐らく5月の降水量が少なかったことと、水質調査当日の朝、やや強い雨が降り、溜まっていた泥が舞い上がったせいで、数値が高くなったのではないかと思います。全国で5252地点、のべ参加者数は、13回目で92,663人となっています。来年の第14回では、10万人を達成するように努力していきたいと思っておりますので、フォーラムのご協力もよろしくをお願いします。

(事務局)

なお、今回の調査にあたっては、当フォーラム公式ホームページに Google マイマップを活用した「多摩川一斉水質調査地点マップ」を掲載し、パソコンはもちろん、スマホやタブレットからフォーラムが直接担当した採水75地点を閲覧できるようにしました。このシステムを導入するに当たり、渡邊環境清流部会長に全面的にご協力をいただきました。本当に有り難うございました。また、渡邊環境清流部会長をはじめ、山崎運営委員、奥山アドバイザーにも、採水・測定のご協力をいただきました。

水質調査レポートの次ページをご覧ください。今回の調査も、CODに加え、電気伝導率、水の濁りを調査する濁度・色度の測定を行いました。資料をとりまとめられた渡邊部会長に一言コメントをいただきたいと存じます。

(渡邊環境清流部会長)

電気伝導率について、簡単に説明します。図1をご覧ください。電気伝導率というのは、電気の通り易さ、水の抵抗の逆数を採っています。すなわち、水の中のプラスイオンやマイナスイオンが多い場合は、電気伝導率が高くなるということです。きれいな水の場合は、電気伝導率は低くなります。採水地点1番～46番まで、電気伝導率が低いので、水は比較的きれいだと言えます。47番・多摩大橋下になると、玉川上水水再生センターの排水処理水が入ってくるので、値が高くなります。72番以降はグラフからはみ出ていますが、これは海水が混じっているからです。このグラフで、多摩川の水の性質を大まかに把握することができます。図2は多摩川支川の電気伝導率です。全体的に値が低く、きれいな水であることが分かります。

裏側のページをご覧ください。図3は濁度・色度をグラフ化しています。濁度は水の濁りです。色度は、水に溶けている物質やコロイド物質は淡黄色や黄褐色になります。なぜ色が付くのかというと、樹木などの植物のセルロースやリグニンが酸化される過程で生じるフミル酸だと考えられ、これは色が黄色や緑色になります。色度は、これを測定したものです。調査地点1番～44番はほとんど色が付いておらずきれいな水ですが、45番以降は下水処理水が入るため、値が高くなります。また52番で急に値が低くなりますが、これは調査地点が支川の流入する所なので、値が低くなっています。濁度については、天候が良く、水も安定していましたので、調査当日はほとんど濁りはありませんでした。濁度に関して言えば、飲料水の基準を満たしております。図4は支川の濁度・色度です。59番の色度が高いのは、狭山池ですので、水が滞留して濁ったり、色が付いたりしているということです。以上で電気伝導率、濁度・色度の説明を終わります。

(13)「東北・夢の桜街道推進協議会」平成28年度総会開催(7/27 岩手県)【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。本年7月27日、平成28年度総会が岩手県盛岡市で開催され、平成28年度も、当フォーラムからの拠出金が2,000,000円に決定しました。

(14) 東急百貨店よりオリジナルマルチケース贈呈(8/4)

- ・ 本年8月4日、東急百貨店様のご厚意により、オリジナルマルチケース1,000個が、当フォーラムに贈呈されました。本日は特別に、皆さまの席上に、ブルーのオリジナルマルチケースをプレゼントさせていただきましたので、どうぞお持ち帰りください。

(16) 第3回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて(9/1～)【資料13】

- ・ 【資料13】をご覧ください。JR東日本さんと連携して作成したチラシです。八王子支社さん管轄の33駅にこのチラシを設置していただきました。また、大多摩観光連盟さんのご厚意で、「大多摩四季報」の見開き1ページに情報を掲載していただきました。こちらチラシと一緒に駅に設置されています。はとバスさんでも3年連続で「多摩川酒蔵街道」のコース8本を販売していただいています。本件につきまして、株式会社はとバス観光バス事業本部企画旅行部長の江澤運営委員より一言お願いいたします。

(株式会社はとバス 観光バス事業本部 企画旅行部長 江澤 様)

いまご覧いただいているツアーですが、今年も8本設定し、今のところ7本の運行が決定しております。約300名の方がご利用になります。明日から運行開始です。酒蔵街道のひとつである小澤酒造さんで食事と試飲を楽しんでいただけますが、ランチの時には5つの酒蔵のお酒を提供しており、ご賞味いただくことができます。このコースは今年で3年目になりますが、一昨年は300名、昨年は250名と、はとバスの中でも人気のコースとなっています。

(17) 東急百貨店より第7回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(9/23)【資料14】

- ・ 【資料14】をご覧ください。平成28年9月23日、株式会社東急百貨店本社にて、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部454,178円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。贈呈式には、毎年、細野会長にご出席いただいておりますが、当日体調不良のため、急遽、フォーラム事務局の宮坂常務理事が会長代理で出席しました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

(18) 第9回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/8)【資料15】

- ・ 【資料15】をご覧ください。今年10月8日に大田区民有志や地元の中学生45名を含む総勢で70名が参加されたほか、フォーラム事務局も大田区丸子橋から一緒にスタートし、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走しました。なお、イベント当日に集まった桜の植樹募金は、今年11日に大田区役所区長室において、松原大田区長様より当フォーラムの細野会長に寄付金として贈呈される予

定です。

(20) 第8回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/12、11/19、11/26)【資料16】

- ・【資料16】をご覧ください。今年の「美しい多摩川クリーンキャンペーン」のポスターになります。今年度は、青梅市御岳会場、多摩市一ノ宮公園会場に加えて、川崎市様のご協力により、新たな清掃会場として川崎市多摩川河口を予定しております。これにより、11月の美しい多摩川クリーンキャンペーン月間に、多摩川上流域、中流域、下流域の3会場で清掃活動を実施することになりました。特に、川崎市会場は初めての開催となりますので、詳細なマップを資料に添えております。一人でも多くの会員の皆さまにご参加いただけたらと存じますので、よろしくお願ひします。因みに、今年度は狛江市様、川崎市様、小田急電鉄株式会社様、京浜急行電鉄株式会社様、株式会社JTBCコーポレートセールス様、富士通株式会社様が今回、新たに参加されることになりました。

(22) 第9回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/10)【資料18】

- ・【資料18】をご覧ください。今年度は、現在のところ、8組の参加が確定しております。最終的には、10組を目標に、各参加団体と調整中です。経過報告および当面の予定は以上です。

(細野会長)

事務局からの経過報告で、ご質問などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入りたいと思います。第1号議案の「平成29年度美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業について(案)」ですが、事務局の方からご説明をお願いします。

4. 協議

(1) 第1号議案:平成29年度美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業について(案)
(事務局)

【第1号議案】をご覧ください。これまでに会員の皆さまから部会や運営委員会でさまざまなご意見をいただきました。これを踏まえ、事務局では基本方針である「美しい多摩川100年プラン」に沿って、10年間の実践活動を総括し、今後10年間を展望して、10周年記念事業の検討を進めて参りました。予算制約のもと、既存事業の見直しも並行的に行い、「10周年記念事業として採択したい候補案件」として取り纏めました。

まず、経済軸では、「多摩川親水事業」です。

次に、多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所の選定先等見直しについては、経年劣化の桜があることもあり、この際、八十八カ所の一部入れ替え等の見直しを行うものです。

環境軸では、美しい多摩川フォーラムの森(青梅)において、“桜”の記念植樹を行うイベントです。

教育・文化軸では、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会です。

総合軸では、10周年記念シンポジウムを考えました。10年間の実践活動を総括し、今後10年間の展望した内容で検討しています。

10周年記念誌発行ですが、発足前後より10年間の足跡を冊子化すると共に、公式ホームページにも掲載したいと考えています。

100年プラン・パンフレットの改訂版発行についてですが、10周年記念を踏まえたものとし、さらに、前回発行時以降、フォーラムの事業活動が進化・発展しているため、実態に合わせてリニューアルしたいと考えています。

シンボルマークの制作ですが、10周年を機に新たに制作し、今後のフォーラム活動に活用できればと考えています。

ドローンを活用した多摩川の空撮ですが、桜が咲き誇る春に行い、その映像を様々な事業活動のPRに有効活用したいと考えています。

案件は以上のとおりですが、次ページの「美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業関連費用(事務方素案)」をご覧ください。10周年記念事業費の総額を試算してみました。網掛けの記念事業は平成29年度新たに資金負担が発生するもので、合計で558万円になります。なお、多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所の選定先等見直しに伴うマップ改訂、公式ホームページ改訂費用については、平成30年度以降に予算化を検討しているものです。また、美しい多摩川フォーラムの森(青梅)の記念植樹イベントですが、東京都農林水産振興財団の年度計画の中で対応することが当初より想定されているものであり、新たに資金負担は発生しません。

シンボルマークの制作ですが、フォーラム法人会員のアルピン株式会社様より、「30万円相当ですが、無償で協力する」とのお申し出がありました。

一方、事業の見直しについてですが、多摩川カヤック体験教室、美しい多摩川フォト教室を中止とし、多摩川子ども環境シンポジウムにつきましては、いろいろ負担の大きい「みんなの発表誌」を平成28年度より中止し、シンポジウムの内容を見直していくことにより、全体として258万円の費用減少となります。この結果、不足事業費は300万円となります。この300万円は、フォーラム事務局で現在検討しておりますが、寄付金ということになれば、ぜひ会員の皆さまにご協力をお願いできればと考えております。

なお、次ページは、「その他、記念事業候補としていただいたご意見についての検討結果」を、ご参考までにまとめた資料になります。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。不足額300万円について、どうやって補おうとしているのか、事務局でアイデアはありますか。

(事務局)

300万円の一部を会員の皆様や民間の皆様にお申し、ご協力をいただけたらと思っております。例えば、記念誌を発行するにあたり、寄付金での対応を検討しております。

(細野会長)

学会でも、誌面の後ろにPRを入れたりします。そういうことも考えたらどうですか。1頁あたり20～30万円いただくというのはどうでしょう。10社で200万円になりますね。

(事務局)

寄付をいただいた方については、記念誌にお名前を載せるようなアイデアをいただいております。よく整理して、皆さんにお願いする時には、書面にてお願いさせていただこうと思っています。

(堤運営委員)

誌面でも映像でも、広告枠をきちんと作ってあげないと、寄付・浄財だけでは、クオリティ面においても安定しないと思います。20万円だと小さな企業や個人では大変だと思います。会の趣旨に沿うか分かりませんが、皆さんに分かり易くて「こういうものがあつたら良いね」というものがあれば、クラウド・ファンディングを活用するのも手だと思います。希望以上の額が集まったら、他の事業に回せば良いと思います。会員を広げる一つの手段としても良いのではないのでしょうか。

(事務局)

貴重なご意見をいただき、有り難うございます。クラウド・ファンディングについては、事務局を担っている青梅信用金庫でも1件ありましたし、推進しております。いまアイデアが浮かんだのですが、ドローンについて、需要が増えていることもあり、予算を上回る事が懸念されます。予算内に収めたとしても、それなりのものしか出来ない恐れもありますので、ドローンについてクラウド・ファンディングを活用するのも良いかもしれないと思われました。良いアイデアをいただき、有り難うございます。

(細野会長)

有り難うございました。他にありますか。はい、どうぞ。

(木村運営委員)

一点伺いたいのですが、「多摩川親水事業」とは具体的にどういうことですか。

(事務局)

歯切れの悪い言い方で恐縮です。このペーパーを出した段階では、お答えできる状況ではなく、こういった形になってしまいました。ペーパーの下に注釈があり、「今後クリアすべき制度的対応があり、その帰趨によっては、10周年記念事業ではなく、当フォーラム協力事業となる可能性。」と書いてあります。協力事業になる可能性のほうが高いと思います。詳しい事は申し上げられませんが、これは『多摩川カヌー駅伝大会』のことです。当フォーラムとしては、平成29年度は100万円を計上し、制度的対応がクリアすると、そこと連携し、当フォーラムとしては協力事業という位置付けで開催したいと考えております。

(細野会長)

事務局の苦しい胸の内をお察してください。他にいかがですか。

(木村運営委員)

ドローンについては、色々な規制があり、地表から150メートル以内でないと空撮できません。それ以上になると航空法に引っかかるので届け出をしないと行けません。そういうことを考えると、この予算では厳しいと思います。

(事務局)

既に業者と打合せもしていますが、実際には少なくともこの金額の倍はかかるということです。それでも他の業者に比べれば献身的な金額ではありますが。事務局で考えているのは、多摩川138キロの空撮で、笠取山の水干から、多摩川河口までの空撮を目標としています。先ほどクラウド・ファンディングの話もありましたので、それも踏まえて検討してまいります。規制に関しても把握しておりますし、申請も専門家でないといけないそうです。それを踏まえた見積りをもらっています。

(細野会長)

クラウド・ファンディングというのは、社会的貢献が関係してきます。多摩川一斉水質調査ともコンバインしてやれば、クラウド・ファンディングと繋がってくる気もします。渡邊運営委員にも手伝っていただいて、考えたらどうでしょう。事務局だけでは大変だと思います。

(平野副会長)

検討結果の中のホームページの多言語対応について、「一言語350万円」とあり、費用的に無理だと思いがちですが、私が住んでいる東京都府中市にある大学で、東京外語大学があります。この大学の教授が、オリンピックに向けて、色々な自治体に、我が校

の生徒をボランティアガイドに使ってくれないかと申し入れをしているようです。府中市にもその申し入れがあったとのこと。私も夏に東京外語大学である先生にお会いしたところ、「うちの言語でもやりたいと思っている」とのことでした。直接こちらが申し込める話かどうかは分かりませんが、どこまでがボランティアか、多少はお支払いしたほうが良いのかもしれませんが、費用は大幅に抑えられるのではないかと思います。多摩川フォーラムには様々な行政が関わっていますので、もし東京外語大学や他の外国語大学から行政さんに申し入れがあった場合は、多摩川フォーラムへの協力も提案していただけたら嬉しく思います。

(細野会長)

これは良いアイデアかもしれませんね。他にいかがでしょう。山崎運営委員、何かありますか。

(山崎運営委員)

だいぶ練られてきたことなので、特にはありませんが、ドローンに関しては、当初の数字がどんどん膨れ上がるというのであれば、色々な形で練っていった方が良いと思います。川は、一度雨が降るとガラッと変わってしまうので、瞬間の映像を残す意味がどれくらいあるのか疑問です。安上がりなGoogle Earthでも良いのかなと思います。シンポジウムや記念誌は楽しみにしています。正直に言うと、事務局が何でも進めているところがあるので、皆が記念誌の制作に参加できると良いと思います。

(細野会長)

有り難うございました。事務局は、少し頑張り過ぎているかもしれませんね。他にないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。以上で、協議事項が終了しました。それでは、次の意見交換に移ります。事務局の方からお願いします。

5. 意見交換

(1) 平成29年度美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業予定案件の実施に向けて
(事務局)

只今ご承認いただいた第1号議案に関して、記念事業実施に向けてのご質問やご意見等がございましたら挙手をお願いしたいと存じます。

(浅見運営委員)

桜の植樹の規模や時期について教えてください。

(事務局)

時期は秋を考えております。9月下旬～11月初旬が良いと聞いておりますが、台風もありますので、考慮していきたいと思います。植えるのはヤマザクラで、苗木を150本用意する予定です。ゆくゆくは、そこが多摩川夢の桜街道・桜の札所(名所)のひとつになれば良いという想いを込めて、植樹できればと考えております。

(澤田アドバイザー)

予算の大きい記念誌にこだわっているようです。我々の世代は活字かもしれませんが、今後の世代は映像だと思います。御岳登山鉄道のホームページには、ドローン映像を載せています。記念誌を発行したところで、読んでもらえるのか疑問です。本棚の隅に入ってしまうのではないのでしょうか。世代交代を考え、映像を重視したらどうでしょうか。予算も削減されますから、設立10年ですから、足跡を残すには早すぎるのではないのでしょうか。

(山崎運営委員)

世代間で様々な意見があると思いますが、私は、文字は文化だと思っています。映像は見たら終わりですが、文字は100年でも残ります。ですから、どうやって読んでもらえるものを作るのが大事だと思います。澤田さんのおっしゃる通り、ただ配るだけなら本棚の肥やしにもなりません。恐らく記念誌は学校にも配るでしょうから、子どもを含めた皆が読みたくなるものが重要だと思います。手前味噌ですが、「タマゾン川」は第5刷まで増刷されました。発刊から5年経ちますが、未だにアマゾンでは、書籍の環境部門で10位以内に入ります。そこまでしても読みたいと思われる記念誌であれば、価値はあると思います。

別件ですが、来週の12日(土)に川崎でゴミ拾いが実現されます。私も行きますので、皆さん、ぜひ河口に遊びに来てください。

(堤運営委員)

お金の話ばかりですみません。記念誌については、澤田さんのご意見もごもつとまたなと思いました。例えば、記念誌を電子出版されたらどうでしょうか。

(事務局)

事務局でも電子媒体を検討しましたが、紙にしてほしいという世代もあるということで、ある程度の部数を用意することにしました。しかし、1000部や2000部では金額がほとんど変わりません。であれば、多摩川流域の小中学校に配れる部数を発行した方が良いのではないかという意見もあります。どうやったら読んでもらえるのかについても今後検討し、練っていきたいと思います。

(細野会長)

有り難うございました。そろそろ時間ですので、最後に平野副会長からどうぞ。

(平野副会長)

11月9日(水)に、「語り」を行います。多摩川フォーラムのイベントでも参加している稲井まり子を含めた3人で出演します。戦争について考えさせられる作品や、盲導犬について考えさせられる作品など、そして私は恋愛について考える内容である、瀬戸内寂聴先生の作品を語ります。これから恋をする世代に聞いてもらいたい作品です。また、いつもフォーラムの総会で司会をしてくれている渡辺理恵さんが、いま私の「語り」の側面をサポートしていて、仲間に入ってもらっています。残席が少ない中ではありますが、もしよろしければお問合せください。

6. 総括・閉会

(平野副会長)

私も「語り」の関連で別の団体を立ち上げ、大変な局面に遭遇しました。そういった意味でも、多摩川フォーラムは、任意団体で来年10周年を迎えると思うと、なんて素晴らしい団体なのであろうかと、手前味噌ながら思います。また、細野会長が中心となってまとめられた学会の研究書で、多摩川フォーラムの活動が学術的に裏付けされていました。とても誇らしい事です。この団体が、ひとつの文化として歴史上刻み込まれることを願っております。

(細野会長)

それでは、平成28年度第1回運営委員会をお開きにいたします。皆さま有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)